

立教大学 コミュニティ福祉学部  
東日本大震災復興支援プロジェクト  
学生支援局 Three-S

# 創設5周年 記念誌

～Three-S 5年のあゆみ～

改訂版









# 目次

- 巻頭写真 . . . . . 1
- 目次 . . . . . 3
- 発行にあたって . . . . . 4
- 東日本大震災 . . . . . 5
- Three-Sとは . . . . . 7
- 活動記録 . . . . . 8
- 各企画の紹介 . . . . . 1 2
- 各係の紹介 . . . . . 1 5
- 代表からのメッセージ . . . . . 1 6
- アクセス . . . . . 1 7

# 発行にあたって

Three-Sは東日本大震災による被害状況を知った学生たちの「何かしたい」という想いを形にするべく、2011年6月に始動しました。

東日本大震災から5年という節目。メンバーが活動内容や復興支援に対する想いを再認識するきっかけになればと発行に至りました。さらに、この冊子を通じて多くの皆様にThree-Sの活動を知っていただけることを強く願っております。

2016年3月11日

Three-S一同



# 東日本大震災



↑福島県南相馬市にて。  
自転車置き場に汚染された土砂が  
積まれている。



↑気仙沼市鹿折にて地上に打ち上げられた漁船。



←南三陸町の防災対策庁舎。  
屋上の床上2mの高さまで津波にの  
まれた。

↓いわき市薄磯地区の灯台からの景色。  
堤防が建設中であることがわかる。







→石巻川開き祭りの慰霊祭での大きな灯籠。一文字の漢字に人々の想いが込められている。



↑石巻市にて。真っ黒に焼け焦げた車。津波だけでなく火災の脅威も窺えた。



←石巻市日和山にて。津波からの避難時に現地の人々が上った階段。

↑石巻市門脇町の看板。追悼の場となっており2015年に移設が決定された。



←高田松原跡地にある津波を受け、唯一残った「奇跡の一本松」。



↑陸前高田市にある、津波到達点を示しているビル。

→陸前高田市内の堤防。震災後の工事で12.5mもの高さに建設し直され、町の景観は一変した。



↑2014年8月の陸前高田市内の様子。嵩上げ工事がいたるところで行われていた。

# Three-Sとは

立教大学 東日本大震災 復興支援プロジェクト  
学生支援局 Three-S  
(Support Station by Students)

2011年6月7日に学生有志5名により設立された、東日本大震災で被害を受けた地域の復興支援活動を行っている団体です。メンバーは全て立教大学の学生で編成されています。同大学内コミュニティ福祉学部の教職員が中心となり発足した「コミュニティ福祉学部 東日本大震災復興支援プロジェクト」と連携・協力し、東北や都内、学内において学生による主体的な復興支援活動を展開し、今に至ります。

## ◆目的

「何かしたい」を「何か出来る」へ」をモットーに、一人で復興支援への一歩を踏み出せない学生の想いを、学内で、都内で、東北で...様々な活動を通して、応援することや、震災の風化防止を目的としています。

2016年からは、「東北を好きになることを入口に、復興支援に繋げ、寄り添う」を目標に、1人でも多くの学生が東北を好きになり、東北へ足を運んでもらえるような企画を展開中です。





# 活動記録

石巻焼きそば販売お手伝い  
 「石巻茶色い焼きそばアカデミー」の方々が関東のイベントで出店する際、販売のお手伝いをさせていただきます。



震災直後の支援  
 震災直後は、被災地への物資支援や関東でのチャリティー活動を中心に行いました。

↓強化ダンボールで机やイスを作成し 避難所や仮設住宅に送付



↑2012年8月  
 全国消防技術大会での販売



←2013年10月  
 池袋芸術劇場前での販売

2011年						2012年			
3月	6月	8月		10月	11月	12月	1月	6月	8月
11日	7日				5・6日			9・10日/23・24日	7日 25日
東日本大震災発生	Three   S 発足	化粧品集め・仕分け作業	ダンテプロジェクト@東洋大学朝霞キャンパス	タオルの会	I V Y F e s t a 2 0 1 1	手作りクリスマスプレゼントFor石巻めだかの楽園	石巻焼きそば販売お手伝い@町田石巻物産展	Z e R o パスツア―第一弾@石巻・東松島市	石巻焼きそば販売お手伝い@全国消防技術大会 百人町さんさん夏祭り 参加

## シュシュ隊

作成したシュシュを被災地へ送付しました。また、シュシュの作成を通して、東北の方と交流をしました。



## 手話歌チャリティーコンサート

学内の手話サークルHand Shapeと協力し、学生・教職員に向け、手話歌のパフォーマンスに復興支援要素を取り入れたチャリティーコンサートを実施しました。



## さんさん夏祭り

Joy Study Projectが社会福祉協議会や地元の方と協力し、新宿区百人町アパートの住民と広域避難者の方々の交流を目的とした祭りを毎年開催しています。



## IVYFesta

新座キャンパスの学園祭にて、石巻焼きそばの販売を毎年行っています。2012年からは、写真展も開いています。

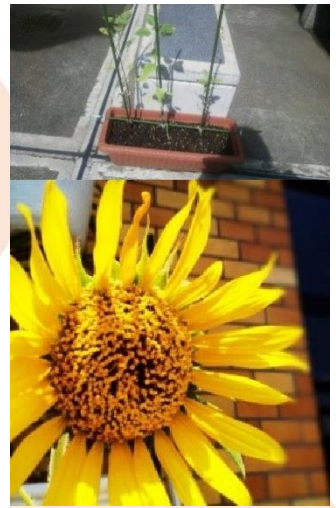


				2013年			
9月	10月	11月	12月	1月	5月	6月	7月
16・17日	27・30日	3・4日 24・25日	4・5日	11日	1・2日 3~6日 12日	7日	
きたに防災キャンプ 参加	夏休み活動報告会 石巻焼きそば販売お手伝い@原宿	IVY F e s t a 2 0 1 2	シュシュ隊 Three   S x 手話サークル Hand Shape	Three   S ワークショップ	Z e R O パスツァー第三弾@石巻市・東松島市 石巻焼きそば販売お手伝い@お台場	とーほくらぶ写真展	総会 石巻焼きそば販売お手伝い@幕張メッセ



### ZeRoバスツアー

2012年～2013年に行なった、学生が復興支援をはじめのきっかけ＝「0歩目」の機会の提供を目的としたツアー。東北の視察を行い、住民の方と交流をしました。



### ひまわりプロジェクト

ZeRoバスツアーで石巻市を訪問した際に頂いたひまわりの種を、Three-Sのメンバーで育てました。



### HOPE

防災班による、学生目線で、楽しみながら防災を学ぶイベント。学内の学生を対象に、謎解き等のゲームを通して防災の知識を広めることを目的としています。

				2014年					
8月	9月	10月	11月	3月	5月	8月	9月	10月	
21日～	13・14日	12・13日	2・3日	2日 21・22日	3～6日	29日	14・15日 20・21日	12日	
ひまわりプロジェクト	ZeRoバスツアー―第四弾@陸前高田市	石巻焼きそば販売お手伝い@芸術劇場前	IVY Festa 2013	第一回HOPE 体験型防災演習	現地視察合宿@石巻・女川	石巻焼きそば販売お手伝い@お台場	ひまわりプロジェクト さんさん夏祭り 参加	気仙沼大島視察ツアー― 第一回石巻・女川ツアー―	石巻焼きそば販売お手伝い@池袋西口公園



石巻・女川  
交流プログラム

石巻市・女川町を訪れる  
学生目線の企画を2014  
年から行っています。

地元の方との交流や祭り  
への参加を通して、震災  
の風化防止と、地域の魅  
力を伝えることを目的と  
しています。

2014年おながわ秋刀魚  
収穫祭のお手伝い



↑プログラム企画メン  
バーによる事前訪問の様子

2015年に開業した  
JR女川駅の新駅舎



きずな新聞

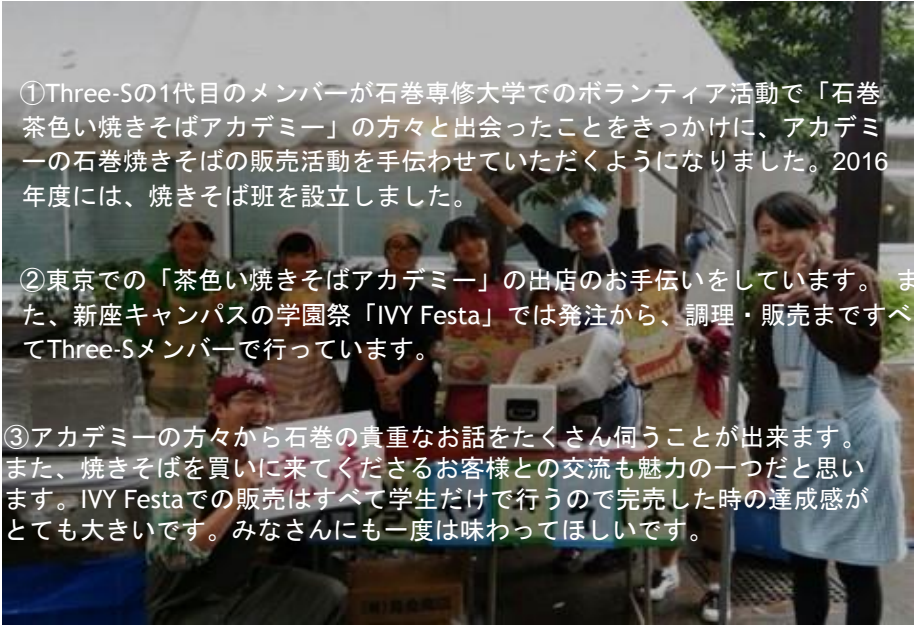
学内・学外の方々に  
Three-Sについて知って  
もらい、震災について考  
えてもらうため、定期的  
に広報誌を発行していま  
す。

11月		12月	3月			4月	5月	7月	9月	10月	11月	12月	
1・2日	12日	27日	18日	6日	12日	21日	24日	2~6日	5日	20・21日	31・1日	7日	16日
I V Y	石 巻 焼 き そ ば 販 売 お 手 伝 い @ 東 京 ド ー ム	復 興 支 援 レ ポ ー ト @ 立 教 大 学 池 袋 キ ャ ン パ ス	総 会	T h r e e   S 春 合 宿 @ 栃 木 県	第 二 回 H O P E	第 二 回 石 巻 ・ 女 川 ツ ア ー	第 三 回 H O P E	石 巻 焼 き そ ば 販 売 お 手 伝 い @ お 台 場	復 興 バ ー 銀 座 店 お 手 伝 い	第 三 回 石 巻 ・ 女 川 ツ ア ー	I V Y F e s t a 2 0 1 5	ポ ラ ン テ ィ ア 団 体 交 流 会	総 会

# 各企画の紹介

①設立経緯 ②活動内容 ③魅力・アピールポイント

## 焼きそば班

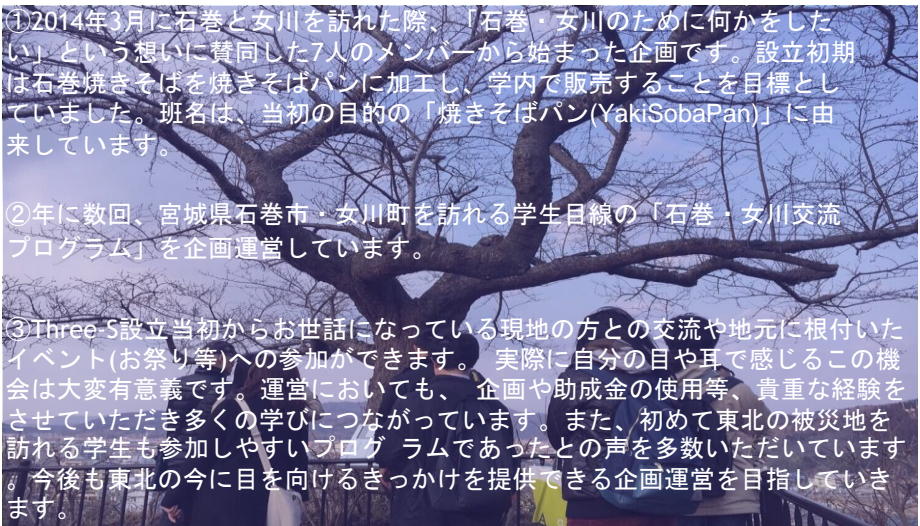


①Three-Sの1代目のメンバーが石巻専修大学でのボランティア活動で「石巻茶色い焼きそばアカデミー」の方々と出会ったことをきっかけに、アカデミーの石巻焼きそばの販売活動を手伝わせていただくようになりました。2016年度には、焼きそば班を設立しました。

②東京での「茶色い焼きそばアカデミー」の店のお手伝いをしています。また、新座キャンパスの学園祭「IVY Festa」では発注から、調理・販売まですべてThree-Sメンバーで行っています。

③アカデミーの方々から石巻の貴重なお話をたくさん伺うことが出来ます。また、焼きそばを買いに来てくださるお客様との交流も魅力の一つだと思います。IVY Festaでの販売はすべて学生だけで行うので完売した時の達成感がとても大きいです。みなさんにも一度は味わってほしいです。

## YSP



①2014年3月に石巻と女川を訪れた際、「石巻・女川のために何かをしたい」という想いに賛同した7人のメンバーから始まった企画です。設立初期は石巻焼きそばを焼きそばパンに加工し、学内で販売することを目標としていました。班名は、当初の目的の「焼きそばパン(YakiSobaPan)」に由来しています。

②年に数回、宮城県石巻市・女川町を訪れる学生目線の「石巻・女川交流プログラム」を企画運営しています。

③Three-S設立当初からお世話になっている現地の方との交流や地元で根付いたイベント(お祭り等)への参加ができます。実際に自分の目や耳で感じるこの機会は大変有意義です。運営においても、企画や助成金の使用等、貴重な経験をさせていただき多くの学びにつながっています。また、初めて東北の被災地を訪れる学生も参加しやすいプログラムであったとの声を多数いただいています。今後も東北の今に目を向けるきっかけを提供できる企画運営を目指していきます。

## 広報班

①Three-Sの活動を学内外に発信するために立ち上げられました。当初はWebによる情報発信や広報用のチラシの作成、活動報告会の運営準備等を行っていました。

②現在、広報班は「風化防止」「学生に東北の現状を周知し興味を持ってもらうこと」を目的として活動しています。主な活動は『きずな新聞』の発行と写真展の開催です。活動報告や東北の現状・魅力を定期的に発信することを心掛けています。

③言葉や写真を通じて、Three-Sの想いや現地の実情を、多くの方に届けるという大切な役割を担っています。

## Joy Study Project

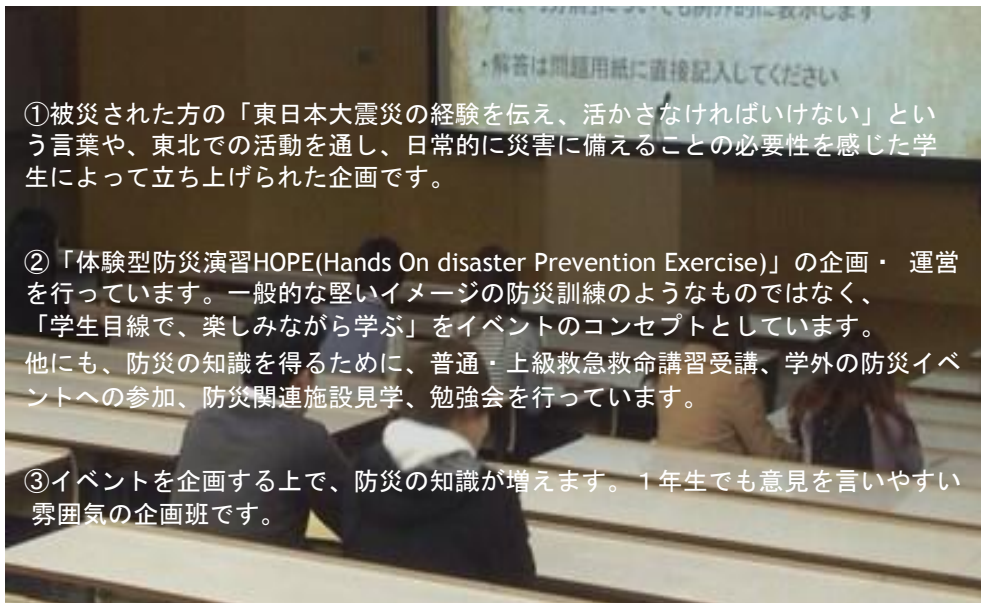
①東日本大震災の広域避難者(約9割が福島県からの避難者)が避難してきている関東も東北同様に「関東の学生が立ち上がって活動していかなくては」という想いで発足した学生団体です。

②新宿区社会福祉協議会や地元の百人町4丁目連絡会の協力のもと、2012年1月より団地の集会室で子どもの遊び支援・学習支援を軸とした多世代交流サロン「さんさん広場」を毎月第二土曜日に行っています。この他、夏祭りや近隣の特別養護老人ホームで行うサロン活動「さんさん商店街」の開催、住民の方々が毎春行っている「防災と花見」への参加等を行っています。

③立教大学のみではなく多くの学生が参加しているため、他大学のボランティアや立教池袋キャンパスの復興支援団体「Frontiers」など多くの仲間ができるのが魅力です。



# 防災班



①被災された方の「東日本大震災の経験を伝え、活かさなければいけない」という言葉や、東北での活動を通し、日常的に災害に備えることの必要性を感じた学生によって立ち上げられた企画です。

②「体験型防災演習HOPE(Hands On disaster Prevention Exercise)」の企画・運営を行っています。一般的な堅いイメージの防災訓練のようなものではなく、「学生目線で、楽しみながら学ぶ」をイベントのコンセプトとしています。他にも、防災の知識を得るために、普通・上級救急救命講習受講、学外の防災イベントへの参加、防災関連施設見学、勉強会を行っています。

③イベントを企画する上で、防災の知識が増えます。1年生でも意見を言しやすい雰囲気企画班です。

防災班 (HOPE) は、Twitterでも情報を発信しています！

“@hope\_rikkyo”で検索してください！

各企画の活動も、Three-SのホームページやFacebook、Twitterで随時更新しています。ぜひ、ご覧ください。

【ホームページ】

<https://rikkyo-fukko-shien-koho.jimdo.com/>

【Twitter・Facebook】“立教 Three-S”で検索

【YSP直通アドレス】

[ysp.yakisoba@gmail.com](mailto:ysp.yakisoba@gmail.com)

【防災班直通アドレス】

[hope.2nd.challenge@gmail.com](mailto:hope.2nd.challenge@gmail.com)



# 各係の紹介

## SNS係

ホームページやTwitter、Facebookを活用した情報の発信に力を入れています。イベント参加の告知の他、活動の様子やメンバーの声も発信しています。代表と副代表の他、各企画の担当者が協力をして、活動をわかりやすく伝えられるように取り組んでいます。それぞれの検索方法は最終ページに掲載していますのでぜひご覧ください。



## 合宿係

メンバーの親睦を深めることと東北の魅力を知ることがを目的に毎年合宿を行っています。近年は8月に気仙沼を訪問して地元の方と一緒に気仙沼みなとまつりに参加したり、龍舞崎や亀山など、気仙沼大島の名所を訪れたりしています。

## 新歓係

新生にThree-Sの取り組みに興味を持ってもらい、Three-Sと一緒に活動をしてくれるメンバーを迎えるために、資料の作成や説明会等の企画を行います。震災から時間が経過しても、学生の力が求められています。東北のため、関東での風化防止のために、一緒に活動をしてくれるメンバーを募集しています。



# 代表からのメッセージ

大島康宏

コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科2年  
Three-S代表



学生支援局Three-S代表の大島です。この冊子は、タイトルのように、創設5周年を記念して2016年に発行したものです。今年は創設からすでに6年が経過していますが、「Three-Sについてわかりやすく書かれている」という声をいただき、2017年に内容を一部改訂して増刷をすることにしました。

私がThree-Sに入って最初に参加した活動は関東で広域避難者支援をする「Joy Study Project」でした。サロン活動やお祭りの企画を住民の方々と一緒に行うことができ、とても楽しかった一方、ある時ふと「がれき撤去をしているわけでもないのに、これがなぜ復興支援活動なのだろう？」と疑問に感じました。半年ぐらいかかってようやくわかったのは、お祭りなどで地域全体が活性化すれば、その地域の人々が暮らしやすい環境が生まれひいては広域避難者にとっても住みやすい場所になるということでした。

2017年度は、「発信と交流を強化し、風化防止活動を継続させる」を根幹に活動をしていきます。震災から6年目を迎えた今、東北でも関東でも復興支援の在り方は変わりつつあります。みなさんもぜひ、一緒に復興支援の形を考え、活動をしていきましょう！



# アクセス

【活動場所】 東日本大震災  
復興支援推進室  
立教大学 新座キャンパス 6号館3階（図書館上）

【お問い合わせ】  
[volunfo.threes@gmail.com](mailto:volunfo.threes@gmail.com)

【Twitter Facebook】  
「立教 Three-S」で検索

【学生支援局Three-Sに参加したい!! と思ったら...】

①学生支援局Three-S参加登録書を記入  
(Three-Sホームページ<https://rikkyo-fukko-shien-koho.jimdo.com/>  
「参加方法」から、PDFをダウンロードして下さい)

②登録書を[volunfo.threes@gmail.com](mailto:volunfo.threes@gmail.com)にメールor直接6号館3階東日本  
大震災復興支援推進室にお届けください。

③学生支援局メーリスに登録  
★【[three-s2017@ra9.jp](mailto:three-s2017@ra9.jp)】  
⇒企画や情報のメールが届くようになります。  
**必ず、本名フルネームでご登録ください。**

Three-Sはメンバーを常時募集しております。  
復興支援に興味のある方、東北に行ってみたいという方、ご連絡お待ちしています。



私たちThree-Sは、これからも震災を  
忘れず、東北に寄り添う活動を  
継続して参ります。  
最後までご覧くださりありがとうございました。





## 学生支援局 **Three-S** (**S**upport **S**tation by **S**tudents)

立教大学

新座キャンパス 6号館 3階 N631号室

東日本大震災復興支援推進室にて活動中です。

【お問い合わせ】 [volunfo.threes@gmail.com](mailto:volunfo.threes@gmail.com)

【ホームページ】 <https://rikkyo-fukko-shien-koho.jimdo.com/>

【Twitter・Facebook】「立教 Three-S」で検索



○本書の一部あるいは全部  
について、無断で転載・複  
製することを禁じます。

○商業目的による本書情報  
の利用を禁じます。

2016年3月11日発行

2017年3月30日改定

冊子作成 Three-S広報

監修 広報部長 松本純佳

助成 電通育英会